

(別紙4(2))

事業所名 すこやかほ～む有住

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	ベテラン職員が多く理念に関しては十分理解していると考え、理念について話し合う機会がないままになっている。理念の意義を改めて振り返る機会を持って、介護の実践に取り組んでいく。	毎日の申し送りや職員会議の中で、職員が理念を唱和し、また理念のもとに新たな短いスローガンを掲げるなどして、理念の意義を改めて見直し、理念に基づいた介護が出来ているかを確認し、利用者本位の介護サービスの提供に取り組んでいく。	6ヶ月
2	49	服薬の支援	ヒヤリハット、事故報告の中で服薬による問題が一番多く、薬の事故は大事故に繋がるという意識が薄いことを認識し、職員間で薬に関する管理と服薬の在り方を再度検討し事故防止に取り組んでいく。	朝食時間帯は早出がならず夜勤者一人に対応するため、確認作業も一人で行う。この時間帯の服薬ミスをなくすためにはどうすればいいかを全職員で検討し、早急にチェック体制や確認の方法の見直しを行っていく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。